

～揖龍南北幹線道路～

たつの市、太子町、宍粟市の住民生活に密着し、国道250号と中国自動車道を直結する、西播磨地域の南北軸の主軸となる道路です。

揖龍南北幹線道路とその必要性

たつの市、揖保郡太子町、宍粟市は、西播磨テクノポリス圏域市町として相互に連携しながら、歴史と自然を生かした活力と潤いと安らぎに満ちた魅力ある街づくりを目指して、都市機能の充実と強化に努めています。

道路は、都市基盤のうち極めて重要なものであり、物流だけでなく、情報や文化の重要な交流基盤となっております。圏域内におきましても県土の骨格となる幹線道路としての中国自動車道・山陽自動車道が東西軸の主軸となり、地域幹線道路の国道2号・国道250号により東西の広域道路ネットワークが形成されます。

南北軸においては、西播磨内陸部から瀬戸内海臨海部へ通じる主要幹線道路はなく、国道179号、主要地方道宍粟新宮線、網干たつの線が主たる道路となっております。

しかしこれらの道路は幅員が狭く、その上、交通量の増加により、慢性的な交通渋滞を起こしている所が多く見受けられ、一部では大型車両が通行できない箇所があるのが現状です。

そのため、地域住民の方々の日常生活において、便利で快適、しかも人・モノ・情報・文化の交流基盤となる道路として、揖龍南北幹線道路を整備促進する必要があります。

概要

延長 約27km(国道250号から中国自動車道)
車線数 各区間ごとの規格による(2～4車線)
事業主体 兵庫県、たつの市、太子町、宍粟市

整備効果

便利で快適になります。

日常生活利便性を向上させ、地域の連携や人的・物的交流を促進します。

地震時に重要な役割を期待できます。

山崎断層で地震が起こった際、重要な役割を果たす道路として期待できます。

交通混雑を緩和します。

自動車交通を分散させることによって、渋滞の著しい既存道路網の交通混雑を緩和します。大型車をはじめ、増加する南北方向の自動車交通量を円滑にさばきます。

地域活性化に役立ちます。

地域の活性化に資する重要な道路です。

揖龍南北幹線道路整備の状況

平成23年3月現在

